

## 江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 5 月 13 日（土） 13：00～15：00	
開催場所	パレットごうつ	
出席議員	責任者 永岡 静馬 報告者 藤田 厚、坪内 涼二、河野 正行 記録者 田中 利徳	
参加市民数	4 人	
実施 内容 報告	議会報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務文教委員会・・・各条例案の説明。桜江スクールバスの運行条例、修正動議の説明。第5次総合振興計画後期計画の説明。過疎地域自立促進計画変更の説明。</li> <li>・建設厚生委員会・・・議会だより P5 請願 1 号「年金の毎月支給を求めるもの」について説明。道路占用料徴収条例、簡易水道の上水道統合に伴う関係条例の整理に関する条例の説明。</li> <li>・予算委員会・・・パワーポイント映像に基づき主な予算内容説明。財源内訳、性質別歳出、目的別歳出の状況の説明。</li> </ul>
	パネルディス カッション	<p>「市庁舎整備問題について」</p> <p>司会者よりこれまでの経緯と概要について説明し、その後 3 人の議員の意見を伺う。</p> <p><b>司会者：</b>現在の江津市市庁舎は、昭和 37 年完成し、世界的建築家ル・コルビュジェの子弟の一人である著名な建築家 吉阪隆正 氏により設計されたものです。竣工式当日には、市内の各町内からお祝いの山車や田植えばやしが繰り出し全市を上げての竣工式であったとお聞きしております。月日の経つのは早いもので。あれから 50 数年が経過し老朽化が進んでおります。そこで、市庁舎の耐久性・耐震性能を中心に耐震改修の可能性や庁舎機能と将来にわたる市庁舎のあるべき姿等について庁舎検討をするため、平成 26 年 9 月 1 日に「江津市庁舎改修整備検討委員会」が設置されました。当初は、耐震改修の方向で進んでおりましたが、昨年 4 月の熊本地震、昨年 10 月の鳥取県中部地震により、業務を行う場である庁舎（行政の中核拠点）が地震発生時においても有効に機能しなければならないことが再認識され、財政措置等も勘案しながら検討を行っているところです。誤解のないように申し添えますが、現在は検討中であり、現庁舎を耐震化する、新地庁舎を建設する、あるいは、何もしない等々、多くの選択肢が残されております。また、現在の A 棟は耐震化したとしても、震度 7 強の地震があった場合には、庁舎機能が失われる場合があるかもしれないということが判明しております。さらに庁舎を改修、建替いずれにしても多額の事業費が必要です。この事業費を自主財源で賄うことは不可能ですので、合併特例債などの公債を使うこととなりますが、この公債には期限がありますので、判断を急がなければなりません。そこで、お聞きします。この市庁舎問題について、財政面も加味しながら、どのようにお考えかを伺います。</p> <p>・河野：耐震化ができるものなら耐震化でいくべきと考えておりましたが、昨年の熊本、鳥取の地震を見ると、これまで江津市は地震の少な</p>

い地域であると言われておりましたが、いつ予期せぬ地震が発生するかわかりません。地震があったときに一番困られるのは市民の皆様なので、合併特例債が使える平成31年度までに新しい市庁舎を建てるべきだと思います。ただ、それに伴いましてこれまで西部小学校の建設問題がありましたが、この市庁舎問題のため3～4年遅れることとなります。しかしながら、市庁舎は市民全体のことなので、市庁舎建設が優先と考えております。

・坪内：私も、現庁舎の耐震改修を考えておりましたが、熊本のような地震があった場合に、市民サービスを低下させてはならないと考えます。熊本の益城町においては今年やっとプレハブの仮庁舎が完成した報道されておりましたが、復旧に1年かかったこととなります。先ほども財源のことがありましたが、合併特例債の期限もありますので、市庁舎建設が最優先と考えております。さらに、人口減が予想されますので将来の人口を想定し過大にならないよう配慮する必要があると考えます。

・藤田：私も、先ほど2名の議員が言われましたように、いつどこで地震が起こっても不思議ではなく、この石見地方でも、明治5年に浜田地震が発生しております。この時の震度は7であったと推測されております。このようなことから考えますと、市民の安心安全を担う市庁舎は、行政拠点・防災拠点でありますから、市庁舎が従来規模では災害時に有効に機能を果たさないのではと考えております。また財源措置としては、5年間延長され平成31年度までとなった合併特例債と期限が平成32年度の緊急減災防災事業債 市町村役場機能緊急保全事業債を使うべきであると思います。さらに、年間11億円かかる公共施設の維持管理費を維持管理計画を実施して削減を図るなど中長期の財源見通しを立てて、将来の人口言を見据えて、スリムでコンパクトな必要最小限の市庁舎を建設すべきであると考えます。

司会者：次に建設場所について伺います。現在5つの候補地が検討されています。①現庁舎の敷地②シビックゾーン③江津駅周辺④総合市民センター横⑤元白寿園の跡地となっております。

・藤田：候補地は5つありますが、私はシビックゾーンの警察横が良いと考えております。理由としましては、災害時のことを考えますと総合市民センターや警察署との連携が取り易いこと、国道9号からのアクセスが良いこと、駐車場が十分に確保できること、病院がありドクターヘリの発着場があることなど利便性が良い。更に土地開発公社の土地が負債ですので負債の処理もできる。これらの理由からシビックゾーンが最適と考えます。

・坪内：現庁舎が著名な方の設計によるものですが、判断にはさほど影響がないものと考えております。場所的に市民の皆さが交通の便が良いと思われる現庁舎の場所でも良いし、シビックセンターも交通の利便性もよいと思います。これから高齢化が進むことを考えればバス停の近くが良いと思います。結論を言いますと私の中では決めきれていません。これから市民説明会も始まりいろいろな意見が出てくると思いますので、それらを参考にして決めたいと考えております。

	<p>・河野：私も藤田議員の言われたシビックゾーンが建設時の仮庁舎も不要だし、市の土地ですから、一番良いと思います。江津駅の裏当たりの周辺も面白いと思います。橋をかけて有効活用できる方法ではないかと思います。夢のようなことを言いますが、もう一つ言いますと、江津駅をもう少し嘉久志側に移転すると面白いと思います。</p> <p>司会者：小学校建設との関係はいかがでしょうか。</p> <p>・河野：西部小学校の建設が平成 31 年・32 年と言われておりましたが、市庁舎は市民全体が関わることでありますので市庁舎問題を優先して解決した後、で来るだけ早く西部小学校建設をしていただきたい。</p> <p>・藤田：合併特例債の期限等の中長期財政見通しから見ても市庁舎が先だと考えます。</p> <p>・坪内：先般川波小学校の体育館を使用しましたが、非常に古いので急がなければと思いましたが、津宮小学校も同様ですが、やはり災害が起きた時の拠点となる市庁舎建設が先で、その後できる限り早く小学校を建設すべきであると思います。</p>
<p>要望・意見等</p>	<p>○質問 1：一般質問等の記録は江津市のホームページで見えることができるが、委員会の議事録は見るようにはできないか。</p> <p>・坪内：議会の I C T 化を進める動きが全国的に始まっている。先般もタブレットを用いた議会運営の研修会を開催したばかりである。更に研修を深めより多くの情報を市民の皆様にお伝えできる検討を始めておりますので、ご要望に応えられるよう協議を重ねていきたいと考えている。</p> <p>○質問 2：新庁舎の移転と言う話だが、①候補地の地盤はどうか。シビックゾーンは元々砂地で、現庁舎のところが一番堅いと思うが、津波についてはどうか。②それから新庁舎を建設する場合に本会議場は不必要と思う。広いスペースがあれば、議会のない時は避難所や防災拠点として使えるのではないか。その代り委員会室をしっかりと作ればよいのではないか。</p> <p>それから、③移転後の現庁舎はどのように利用するのか。図書館がないので図書館をもっていくのか</p> <p>・河野：①津波については、県の発表では日本海で発生する津波の高さは最高約 4 m と言われているが、候補地は海拔 7 m ありますので津波については大丈夫。</p> <p>・②本会議場については、私も言われる通りだと思う。年に 4 回しか使わないので、1 階にもっていきオープンスペースにして、災害時などでは、資材置き場や避難場所として使用するなど執行部でも同様なことが検討されている。</p> <p>・③跡地利用は、言われたように図書館として利用が考えられている。また、現市長室は見晴らしもよいので屋上も含め市民が利用できるようにすると良いと思う。</p> <p>○質問 3：①新庁舎の中に図書館を入れることは、合併特例債の関係で無理なのか②選択肢として浜田市と合併して支所として建設することはできないか。③住民投票で決定できないか。</p>

	<p>・藤田：検討しなければならないが、合併特例債が絡むと図書館を一緒にするのは難しいのではないか</p> <p>・永岡：②合併については、想定外で今のところは議論していない。</p> <p>・河野：③場所については点数化して提案してあるがこれから市民への説明会が実施されますのでその場で意見を述べていただきたい。住民投票は、予算もかかるので無理ではないか。</p> <p><b>○質問4：街灯がLEDに変更されているのですが、江津市全体でのLED化率が分かるか。</b></p> <p>・河野：大雑把であるが、現在半分程度と聞いている。公表については伝えておく。</p> <p><b>○質問5：工事中の県道渡津―浅利線の開通は何時か。</b></p> <p>・永岡：供用開始は平成31年となっている。</p> <p><b>○質問6：江津高校出身なのだが、江津高校には寄宿舎がない。水球などの部活動で遠方より生徒を集めることも可能になるのではないかなと思う。寄宿舎はできないか。</b></p> <p>・河野：現在下宿の斡旋に力を入れている。今年度入学した水球部の1年生は2学期から私のところで下宿とすることになっている。津和野では、Iターンの方が空き家を利用して塾と下宿を開設されている例もある。</p> <p>・坪内：以前江津工業の寄宿舎を利用できないかと言うことを話したことがあるが、何分にも古く、現在1階のみ使用している状況である。今後は県の方にも強く要望していかなければならないと思う。</p> <p><b>○質問7：江津高校は孫留学を推進しておられるが。</b></p> <p>・河野：今年度1名が入学された。</p>
その他特記事項	特記事項なし

平成 29 年 5 月 29 日

江津市議会議長 田 中 直 文 様

地区報告会責任者 永 岡 静 馬

## 江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月13日（土） 17時00分～18時30分
開催場所	都野津地域コミュニティ交流センター
出席議員	責任者 田中 利徳 報告者 河野 正行、島田 修二、森川 佳英 記録者 永岡 静馬
参加市民数	11人
実施内容報告	各委員会報告 総務文教委員会・・・各条例議案の説明。桜江スクールバスの運行条例、修正動議の説明。第5次総合振興計画後期計画の説明。過疎地域自立促進計画の変更の説明。 建設厚生委員会・・・議会だより5p。請願1号「年金の毎月支給を求めるもの」について説明。道路占用料徴収条例、簡易水道の上水道統合に伴う関係条例の整理に関する条例の説明。 予算委員会・・・パワーポイント映像に基づき主な予算内容説明。財源内訳、性質別歳出、目的別歳出の状況の説明。
	パネルディスカッション 「市庁舎問題について」 <b>1. 市庁舎問題をどう考えるか。</b> 司会：市庁舎の現状について概要を説明し、市執行部からの現段階の考え方を説明。各議員に意見を聞く。 河野：現庁舎のA棟は、耐震6強まで補強することはできる。合併特例債の期限が終わるH31年までに、新庁舎を建設すべき。そのため西部統合小学校の建設が3～4年、ずれ込むが、災害時に市民の安全・安心を守る市庁舎の建設が優先されるのは、やむを得ない。 森川：①市庁舎は色々な災害に対応できる必要がある。②市民の合意のもとに進めるべき。③他の公共施設との関係も考えながら進めるべき。④「パレットごうつ」と同じような施設にならないように。未来にわたって残る施設という観点が大切。 島田：市庁舎問題は、すでに総合振興計画に出ていることである。今さらの問題ではない。市から色々な説明があった。①何もなし案。そのまま置いておく、という案。②耐震改修して現市庁舎を使う案。③新庁舎を建設する案。また、これから各地域で住民説明会が予定されている。是非、参加してほしい。 ①案は、実際に災害が起きた場合には、防災機能の拠点として役に立たなくなるので、現実的には難しい。②案は、耐震改修しても、耐震強度が中途半端な状態でしかない。近い将来また、考えなければならなくなる。子供たちに負担を背負わせることになる。 ③案は、多額の費用がかかるが、現実的にはこの案が最もよい。 <b>2. 新庁舎を建設することについて</b> 司会：市から新築する場合の案として、5つのパターンの説明があったが、どうか。

		<p><b>島田</b>：市民が行きやすい場所であること。現庁舎の所へ建て替えるとなると、仮庁舎も必要となるから疑問である。駅前周辺への建設も、地権者やビルの使用者などの同意を得られるのに相当の時間がかかることが想定されて、時間が間に合わない。</p> <p>シビックセンターの警察署の横、津波の心配もない。想定外の災害の時も、近くの保育所からも避難できる場所となる。</p> <p><b>森川</b>：新庁舎の他に、現庁舎を図書館にするのに 10 億くらいかかる。現庁舎の場所に、新庁舎を建て替えるべきである。</p> <p><b>河野</b>：江津駅前に「パレットごうつ」も完成した。駅周辺に新庁舎を建設することもいいのではないか。</p>
<p>要望・意見等</p>		<p>○シビックセンターが安全なのか心配である。</p> <p>→最新の調査では、日本海側では 1000 年に一度の津波の高さが 3～4 mとされているので、大丈夫です。</p> <p>○駐車場がないので、シビックセンターの方がよい。「パレットごうつ」は無駄な建物を建てたと思っている。市民センターと競合してしまっている。ムダである。</p> <p>→田中前市長が提案して、議会も賛成して駅前開発ということで進めたのが「パレットごうつ」である。駐車場が少ないなどの問題も確かにある。</p> <p>○もっと市民センターを利用する方向で考えるべきだ。私たちは怒っている。</p> <p>→我々も言うべきことをしっかり言ってきた。これからは、できたものをしっかり利用していくことがこれからの課題である。</p> <p>○高齢者の車の運転が危ない状況がある。三江線の廃止の問題もある。市の周辺部から中心部へ人口が移っていく。デマンドバスの利用拡大を本気で取り組んでほしい。</p> <p>→交通弱者。買い物、病院に行く手段がない。桜江の川戸の例のように、東部、西部など 4 地区に、コンパクトなまちづくりを考えていった方がよい。また、一般質問等でしっかりと取り組んでいく。</p> <p>→市政は一度決めたら、方向性を変更することはできにくい。</p> <p>市民の方からも色々な意見を上げてほしい。</p> <p>○せつかく説明会をするのだから、前提条件を分かりやすい資料を作って説明会をやってほしい。</p> <p>○待機児童の問題がある。私の 4 人目の孫が、娘も仕事を持っているので大変。親と同居しているから、判定の点数が足りなくて入れても</p>

	<p>らえなかった。また、済生会病院に、こどもを日中診てもらったが、その夜、熱が出た。</p> <p>→保育士も足りない状況である。ギリギリで回しているからでしょう。</p> <p>○鳥取から都野津へUターンしてきた。東日本や熊本にもボランティアで行ってきた。いざの時に、市はどう対応するのかをしっかりと対策してほしい。</p> <p>→地域コミュニティで地域防災組織づくりをすすめている。スタートしはじめたところ。情報の発信と共有が大切である。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p><b>アンケート結果</b></p> <p>1.全体的に感想や気がついた点は。</p> <p>○明るい時間帯で、出かけやすい。</p> <p>○意見交換の内容も深堀りできるようになり、今後も続けてほしい。</p> <p>○短い内容で、聞きやすかったが、専門用語についてわからないのではないかと思った。</p> <p>○いろいろな発言が多く出た。</p> <p>2.パネルディスカッションについて、感想や気がついた点は。</p> <p>○時間的なものもあり、ディスカッションになっていなかったが各々の考えが理解できた。</p>

平成 29 年 5 月 23 日

江津市議会議長

田中 直文 様

都野津地区報告会責任者 田中 利徳

## 江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 5 月 14 日（日）13 時 30 分～15 時 05 分	
開催場所	川越地域コミュニティ交流センター（桜江町川越）	
出席議員	責任者 森脇 悦朗 報告者 多田 伸治、藤間 義明、石橋 孝義 記録者 田中 直文	
参加市民数	6 人	
実施内容報告	各委員会報告	<p>総務文教委員会・・・公民館を地域コミュニティ交流センターに変更する条例、生活交通バス関 3 つの条例改正についての議案説明や質疑内容、討論など。</p> <p>建設厚生委員会・・・年金の毎月支給を求める請願、上水道と簡易水道の統合にともなう条例について議案説明や質疑内容、討論など。</p> <p>予算委員会・・・スライドに基づき平成 29 年度当初予算の歳入・歳出の内訳、目的別歳出の説明及び特に質疑の多かった事業の内容の説明。</p>
	パネルディスカッション	<p>「市庁舎問題について」</p> <p><b>1.市庁舎問題の現状について</b></p> <p><b>司会：</b>現在の庁舎は、吉阪隆正氏により設計され 55 年経過している。平成 26 年 9 月に「江津市庁舎改修整備検討委員会」が設置され当初耐震の方向でいたが、昨年の熊本地震、鳥取県中部地震により従来の耐震強度では機能しなくなる状況となった。現段階では、現庁舎を耐震化する案、新庁舎を建設する案など財政措置等も含めて検討がなされているが、現段階でどうした方がよいか各議員の考えを伺う。</p> <p><b>多田：</b>半世紀以上経過している中では、新しく建設する必要と考える。ただ条件として、①地震・津波等災害に対して耐用性がある。②西部小学校を先送りする中、市民に費用負担が増加しないよう、浜田との合併で支所となることも視野に建設費を抑える。③市民アンケートなども実施し、市民の合意形成が必要と考える。</p> <p><b>藤間：</b>熊本地震により市庁舎機能ができなくなる恐れがあることで、昨年 6 月に突然新たに建設する案が示された。建設に過疎債が使えないことや耐震改修では、合併特例債が使えないことから、平成 31 年までの合併特例債を利用し、新たに市庁舎を建てることに異論はない。</p> <p><b>石橋：</b>A 棟は耐震が可能であるが、B 棟は難しい。防災拠点機能を備えるには増改築でも可能と考える。使えるものと使えないものを判断し、今後の人口減も視野に過大なものにならないようある程度集約したものを建設すべきと考える。</p> <p><b>2.市庁舎の今後について</b></p> <p><b>司会：</b>大方皆さん、新庁舎建設は必要との意見だと思う。財源は合併特例債が平成 31 年までということで、判断を急がなければ今後自主財源で対応することになる。こうしたことから他の大きな事業にも影響し、人口減少も続く中市内に多数存在する公共施設の適正配置・管理も必要。そうしたことも勘案して、市庁舎を建てる場所、建設費用など具体的にどう考えるかを伺う。</p>

		<p><b>多田</b>：場所は災害対策の観点で検討すべきで、シビックセンターは、今より低地になり、津波は3mと想定されているが、過去には大きな津波が押し寄せているといった記録もある。地震に対しても地盤調査を実施して、市民の合意が得られる場所を選定すべき。</p> <p><b>藤間</b>：候補地5箇所の中では、市が進めようとしているシビックセンターがよいと思う。津波や洪水の心配がないことをしっかり市民に説明すべき。建物はコンパクトにすべきで、地場産の石州瓦を使った方がよい。</p> <p><b>石橋</b>：現庁舎の空きスペースを利用すべき。丸子山は地盤も堅固。A棟は図書館にするのも良い。財源の合併特例債を21億すべて使わなくても予算を圧縮し、西部小学校にも充当すべきと考える。</p> <p><b>司会</b>：様々な意見があったが、市当局が市民説明会を実施するので、しっかり意見を出してほしい。議会も議員懇談会を設置し、調査研究を実施し、独自に意見をまとめている。</p>
<p>要望・意見等</p>		<p>○地域コミュニティの予算内訳が知りたい。各種団体にはこれまで通り助成金があり、本来市がやるべきことも押しつけているように思う。コミュニティにした目的が不明。</p> <p><b>森脇</b>：内訳は、センターの維持管理費やマネージャーなどの人件費と10年で1千万といった各コミュニティの独自事業となっている。跡市も各種団体の行う事業をまちづくりがどう整理するか思案している。</p> <p><b>多田</b>：我々も公民館を残すべきと主張した。市は地域に丸投げしているように思う。コミュニティと連合自治会が連携できていない。</p> <p>○ワーカーなど市からの押し付けと感じる。地元負担が増えたが。</p> <p><b>石橋</b>：コミュニティ単位で独自性を求めてきたが地域間の連携ネットワーク化ができていないのが現状。市の下請けではなく独自のカラーを出す必要があり、各種事業などすみ分けも必要。地域のことは自分たちでやるスタンスが必要で、負担にならないよう工夫すべき。</p> <p><b>藤間</b>：都野津は立ち上げて間もないため手探りでやっている。市との連携を図るべきと思う。</p> <p>○県道日貫川本線を利用しているが、落石の危険がある。看板や点検など対策について、県の方へ要望してほしい。</p> <p><b>石橋</b>：市には国県対応の部署があり、桜江支所でも受け付けているので連絡してほしい。</p> <p><b>森脇</b>：昨年事故を受け県の方も落石対策に多くの予算を当てているが幹線道路が優先している。また携帯を使った通報システムも始められているので、まずは何かあったら通報してほしい。</p> <p>○政務活動費について、不正使用のないようどうチェックしているのか。</p> <p><b>森脇</b>：ホームページで領収書を公開しているが、基本的に事務局がチェックするのも限界があり、議員個々がしっかり説明できるようにして</p>

	<p>いる。</p> <p><b>藤間</b>：年間 3 万円なので県議会より使える部分に制限を設けている。</p> <p>○聞きにくいですが、3 万円は多いか少ないか。</p> <p><b>石橋</b>：他市と比べても少ないと思う。</p> <p><b>森脇</b>：現在議会改革特別委員会で定数も含めて政務活動費の在り方について検討している。いろいろなやり方があり庄原市などは政務活動費をなくしているが報酬は江津市よりはるかに良いといった実例もある。今後検討結果を皆さんに示せると思う。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p><b>アンケート結果</b></p> <p>1.開催日・時間は。</p> <p>良い <b>2</b> 良くない <b>3</b> どちらでもない <b>1</b></p> <p>○地区の行事や農繁忙期と重なった。</p> <p>○日曜日の昼は集まりにくい。</p> <p>○住民の集まりにくい時間帯？</p> <p>2.委員会報告は分かりやすかったか。</p> <p>分かりやすい <b>4</b> わかりにくい <b>0</b> どちらでもない <b>2</b></p> <p>○要点がしぼれていた。</p> <p>3.パネルディスカッションのテーマはよかったか。</p> <p>良い <b>4</b> 良くない <b>1</b> どちらでもない <b>1</b></p> <p>○これからの重要問題。</p> <p>4.議員個人の意見や考えが聞けたか。</p> <p>分かった <b>4</b> わかりにくかった <b>1</b> どちらでもない <b>1</b></p> <p>5.次回も参加したいか。</p> <p>思った <b>5</b> どちらでもない <b>1</b></p> <p>6.その他お気づきの点</p> <p>なし</p>

平成 29 年 5 月 17 日

江津市議会議長

田中 直文 様

地区報告会責任者 森脇悦朗

江津市議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月14日（日）17：00～18：30
開催場所	都治地域コミュニティ交流センター
出席議員	責任者(司会) 田中 直文 報告者 鍛冶恵巳子、藤間 義明、土井 正人 記録者 森脇 悦朗
参加人数	10人
実施内容報告	<p>議会報告</p> <p>○ 開会あいさつ、自己紹介、式次第の説明 ◎各委員会報告 総務文教委員会・・・郷田と渡津の公民館を廃止し、地域コミュニティ交流センターへ変更、金田公民館を「金田ふれあいセンター」へ変更。 第5次江津市総合振興計画(後期)を平成31年度まで延長。 生活交通バスに関する3つの条例改正と障がい者などの料金の減免と子ども料金の設定統一。 建設厚生委員会・・・年金の毎月支給を求める請願は不採択。 江津の上水道と桜江の簡易水道を統合 予算委員会・・・平成29年度一般会計当初予算—147億6000万円 「江津市版総合戦略」「江津市総合振興計画」を基本とし、定住対策などに重点。 地域医療支援対策事業—3億2700万円、認定子供園施設整備補助事業—4億2100万円、常備消費費—5億4600万円など。</p>
	<p>パネルディスカッション</p> <p>《江津市庁舎問題について》 司会—江津市庁舎は築55年が経過。耐震化機能が不十分だ。現庁舎を耐震化するか、新庁舎を建て替えるか各議員の見解を聞く。 <b>土井</b>：新たに市庁舎は建設すべきだ。2011年3月11日東日本大震災の現場を見てきた。災害発生時には、市の職員が先頭に立つのが大前提だ。現在の庁舎では、大きな地震にはもたない。当市において最優先課題だ。市民の安心・安全のため、市庁舎は大事。 <b>藤間</b>：熊本地震、東北へボランティア活動を行った人の話(都野津の人)を聞き市役所の防災機能の整備が必要と痛感。熊本地震で市役所が使用不能。国の耐震強度基準を上げた。財政的に合併特例債がH31年度。市民とズレがある。しっかり説明。特別交付金が増えた。市役所を西部小学校より先。 <b>鍛冶</b>：熊本レベルの地震が来たら市庁舎は麻痺する。新庁舎建設に賛成だ。これから人口減少が見えている。できるだけ市庁舎は防災機能を備えたコンパクトな建物にすべきだ。西部小学校や図書館は先送りになるが市民にしっかり説明すべき。ソフト面で防災訓練等も必要だ。 <b>司会</b>：3人の議員、防災機能を持った新しい市庁舎が必要という考えだが財源的なものも踏まえて総合的に建設場所の適地は。</p>

	<p><b>鍛冶</b>：防災機能を持ち、災害対策ができることが最重要課題だ。災害は予測できない。シビックセンターゾーンに公共機関の全てを集積するのは不安だ。B棟解体跡地など安全なところを願う。</p> <p><b>藤間</b>：執行部が提案した5案の中で、シビックゾーンが良い。津波は最大3～4m。シビックの海拔は7～11mでクリアー。交通の便が良い。建物はコンパクトにすべき。景観的には赤瓦を乗せるべき。</p> <p><b>土井</b>：第一候補は市民センター横が良い。ミルキーとかパレットごうつに近い。防災上、高いところが良いが近くの特別養護老人ホームや保育園の避難場所にもなる。第二は警察横、第三はパレットを有効活用できる駅前だ。現庁舎をつぎはぎするよりはコンパクトでよいから有機的に、最低限の行政、防災機能を持った新しい庁舎を作るべき。</p>
<p>要望・意見等</p>	<p>○市民：市庁舎は分散型が良い。パレットごうつ、市民センター、など集中しているので庁舎は離れたところが良い。庁舎の耐震の検討がまだできていないのに場所の問題ではない。</p> <p>○市民：高校再編成の問題もあるが、江津高校を浜田高校にして江津高校を庁舎にしてはどうか。駐車場も広い。</p> <p>司会：市は公共施設白書を作り施設の管理の見直しをしている。江津高校は再編検討の最中である。庁舎問題は限られた期間であり、耐震・防災上から無理。市へ伝える。</p> <p>○市民：市財政は人件費、扶助費が多い。働き手がないのと、財源確保ができていないので、その面に力を入れるべき。やはり民間が投資し、働き場があって都市計画が始まる。道路がついたら発展する。駅前も道路が狭く開発ができていない。庁舎のIS値は自分のところで決めるもの。人口17000人で市の職員は何人か？新耐震化基準を使って、施設は分散化を図るべき。10年先を見て検討してほしい。今の庁舎も建てたら再建団体に陥った。</p> <p>藤間：現市長は人口減少対策、財政立て直しに力を入れている。江津工業団地に企業が入り、さらに造成を進めている。浅利は人口が増えている。財政の健全化を進め、基金もこの10年で20億から53億に積み上げてきている。</p> <p>司会：10年先の人口推移を見据えて、市庁舎の建設を検討している。市職員は人口1%の170人程度と想定している。</p> <p>○市民：新しい市庁舎は、市職員のための予算設定では困る。建設にあたって県外からの意見が入る。市内のプロの意見を取り入れるべき。議会は執行部とケンカすべき。執行部の言いなりにならない。震度7はいつ来るか示してほしい。議員の本音をしゃべってほしい。</p> <p>土井：地震はいつ来るかわからない。我々は素人の範疇で答弁し難いが、市庁舎の建設がいつの間にかできてしまったといわれぬようにすべき。皆さんの意見は参考意見として受け止める。昨年完成した雲南市に現地視察に行ったが、合併当初からの課題でもあり、トイレの数、場所など細かいところまで頻りに協議をしている。当市議会も執行部と協議をしていく。</p> <p>司会：議会も執行部と協議を重ね、いろいろ提言もし、追認機関といわれるようなことはない。</p> <p>○市民：100人中80人が市民、20人が業者。市民は年金しかない。市民一人一人のことを考えてほしい。庁舎はパレットごうつを使えばよい。</p>

	<p>○市民：災害は忘れぬうちにやってくる。少子高齢化は歯止めが利かない。市職員人口の1%は適当だ。・新たに市庁舎は必要だ。可能な限りコンパクトで、デザイン性は重視しない。・A棟は耐震化は可能と聞いた。丸子山公園を有効活用。歴史的価値はあるが有効活用していない。・五箇所の案の議論を深めてほしい。・シビックセンターと現有の施設の活用をすべき。・塩漬け土地の解消を図るべき。・空き家対策、危険建築物調査にも関心向けるべき。調査対策の条例が必要だ。</p> <p>司会：空き家対策は江津市はむしろ先進的な取り組みをしている。危険建築物対策は取り組み中。</p> <p>有意義な意見交換ができた。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>ごみ袋の件は、提言者へ回答すること。</p>

平成 29 年 5 月 28 日

江津市議会議長 田中直文様

地区報告会責任者 田中 直文